



# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

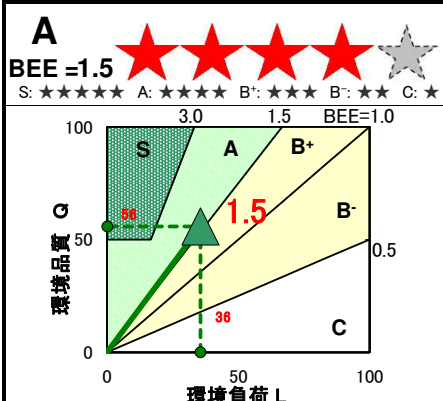
## 1-1 建物概要

|         |           |                |
|---------|-----------|----------------|
| 建物名称    | シティハウス西田辺 |                |
| 建設地     | 東住吉区山坂3丁目 |                |
| 建築用途    | 共同住宅      |                |
| 建築主     |           |                |
| 設計者     |           |                |
| 敷地面積    | 1,361.36  | m <sup>2</sup> |
| 建築面積    | 444.52    | m <sup>2</sup> |
| 延床面積    | 4,554.49  | m <sup>2</sup> |
| 構造/階数   | RC造       | / 地上15階        |
| 完了年(予定) | 2024年8月   |                |

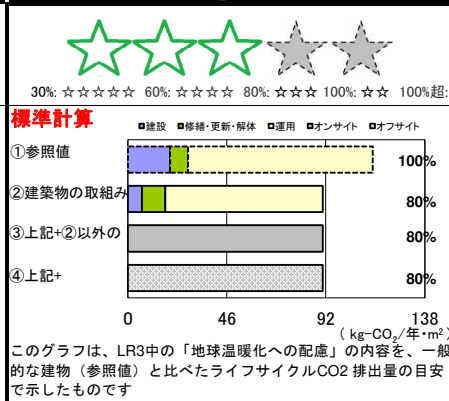
## 1-2 外観



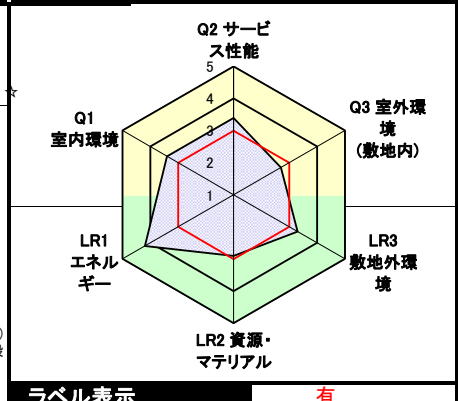
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



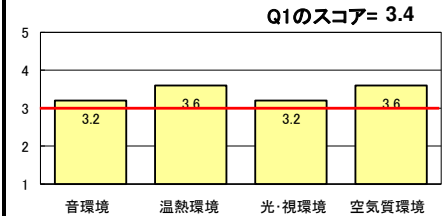
## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



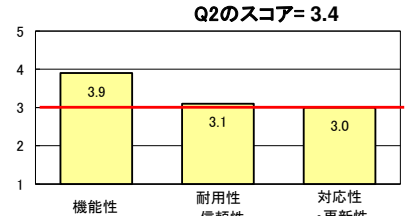
## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質

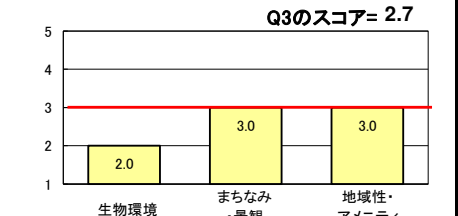
#### Q1 室内環境



#### Q2 サービス性能

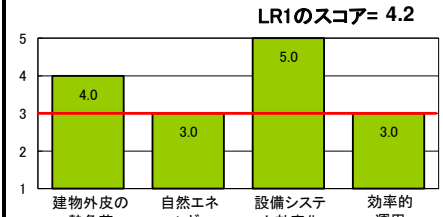


#### Q3 室外環境 (敷地内)

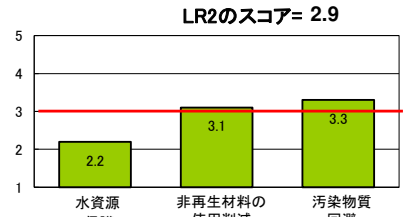


### LR 環境負荷低減性

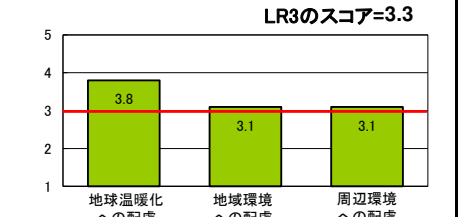
#### LR1 エネルギー



#### LR2 資源・マテリアル



#### LR3 敷地外環境



## 3 設計上の配慮事項

### 総合

高い外皮性能を計画し、省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。  
また、良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。

### その他

特になし。

### Q1 室内環境

断熱性能を省エネルギー対策等級4を満たす計画とし、ほぼ全面的にF☆☆☆☆の内装材を採用することで快適な室内環境を整えられるよう努めた。

### Q2 サービス性能

耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。

### Q3 室外環境 (敷地内)

敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。

### LR1 エネルギー

適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努め、またLED照明など設備システムの効率化にも努め、省エネルギーに配慮した建物としている。

### LR2 資源・マテリアル

オゾン破壊係数や地球温暖化係数の小さい発泡剤を使用する断熱材を採用し、汚染物質の使用回避に努めた。

### LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO2排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

## 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



| 環境性能           | 評価点                  |
|----------------|----------------------|
| (1)CO2削減       | 4.0                  |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄                |
| LR3/ 1 / /     | 地球温暖化への配慮 3.8        |
| 配慮事項           | ライフサイクルCO2排出率低減に努めた。 |

| 環境性能                    | 評価点                                          |
|-------------------------|----------------------------------------------|
| (2)みどり・ヒートアイランド対策       | 3.0                                          |
| みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能 | 概要記入欄                                        |
| Q3 / 1 / /              | 生物環境の保全と創出 2.0                               |
| Q3 / 3 / 3.2/           | 敷地内温熱環境の向上 3.0                               |
| LR3/ 2 / 2.2/           | 温熱環境悪化の改善 3.0                                |
| 配慮事項                    | 緑地を確保することにより、地表面温度や地表面近傍の気温等の上昇を抑制することに配慮した。 |

| 環境性能           | 評価点                                                            |
|----------------|----------------------------------------------------------------|
| (3)建物の断熱性      | 4.0                                                            |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄                                                          |
| LR1/ 1 / /     | 建物の熱負荷抑制 4.0                                                   |
| 配慮事項           | 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を超える水準とし、建物の温度差による熱損失・熱取得の低減に努めた。 |

| 環境性能           | 評価点                             |
|----------------|---------------------------------|
| (4)エネルギー削減     | 5.0                             |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄                           |
| LR1/ 3 / /     | 設備システムの高効率化 5.0                 |
| 配慮事項           | LED照明など高効率な設備を採用し省エネルギーに配慮している。 |

## 省エネルギー基準計算結果

基準  
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）  
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能 住宅部分（品確法等級） 等級4（相当） 非住宅部分[BEI][BEIm] -

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEIm] 0.83 住宅部分[BEI] 0.83 非住宅部分[BEI][BEIm] -